

決算説明会



CHODAI

株式会社 長大

2016年12月7日

三島スカイウォーク

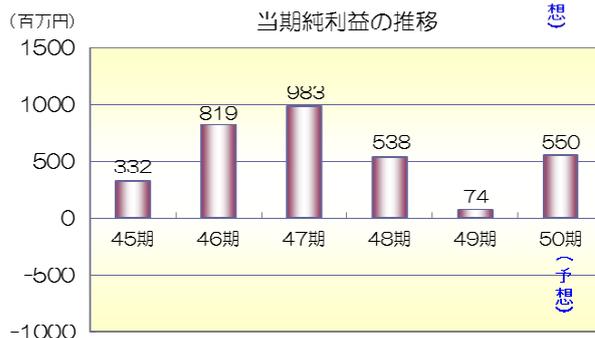
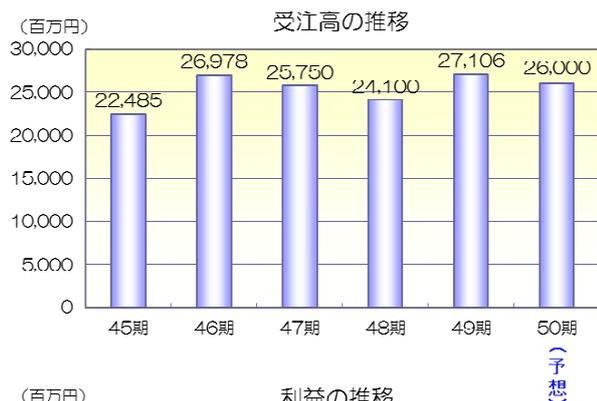
最近の営業成果 ～2016年9月期（長大49期）～



人・夢・技術

CHODAI

◆業績及び今後の見通し（連結）



人・夢・技術

3

◆49期損益状況（連結）

- 受注高 : 271億円 (前期比 112.5%)
- 売上高 : 249億円 (前期比 94.8%)
- 営業利益 : 8億円 (前期比 72.6%)

<トピックス>

- 国内では引き続き防災・減災対策、災害復興・復旧、維持管理・インフラ老朽化対策関連事業を主体に稼働
- 海外では中国経済の減速やテロの発生等の影響により、事業の遅延や中止が発生し、受注・業務稼働停滞
- グループ会社は、基礎地盤コンサルタンツの維持管理や耐震、環境・GIS業務等、受注好調



人・夢・技術

4

◆49期損益状況（個別）

- 受注高 : 136億円（前期比109.2%）
- 売上高 : 129億円（前期比96.2%）
- 営業利益 : 2.3億円（前期比111.7%）

<トピックス>

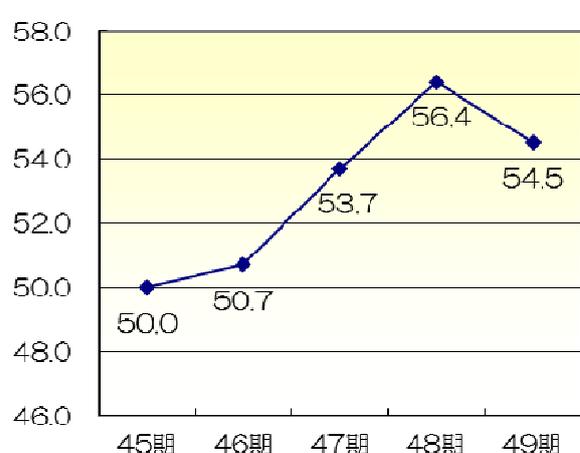
- 構造事業 : 地震や台風被害の復旧事業関連業務、耐震補強業務、橋梁点検ロボット実用化の取り組み
- 道路事業 : 維持管理に不可欠な各種点検や道路管理DB業務、新たに自治体の公共施設等総合管理業務の取り組み
- 社会事業 : 基幹の環境・ITS・情報関連業務に加え、PPP/PFI・建築・港湾、河川防災分野業務の強化

◆財務状況（連結）

（百万円） 総資産・純資産の推移



(%) 自己資本比率の推移



今後の経営計画

◆新たな中期経営計画

「長大持続成長プラン2016」

長大グループ経営のベクトルと目標を
経営者と社員が共有する

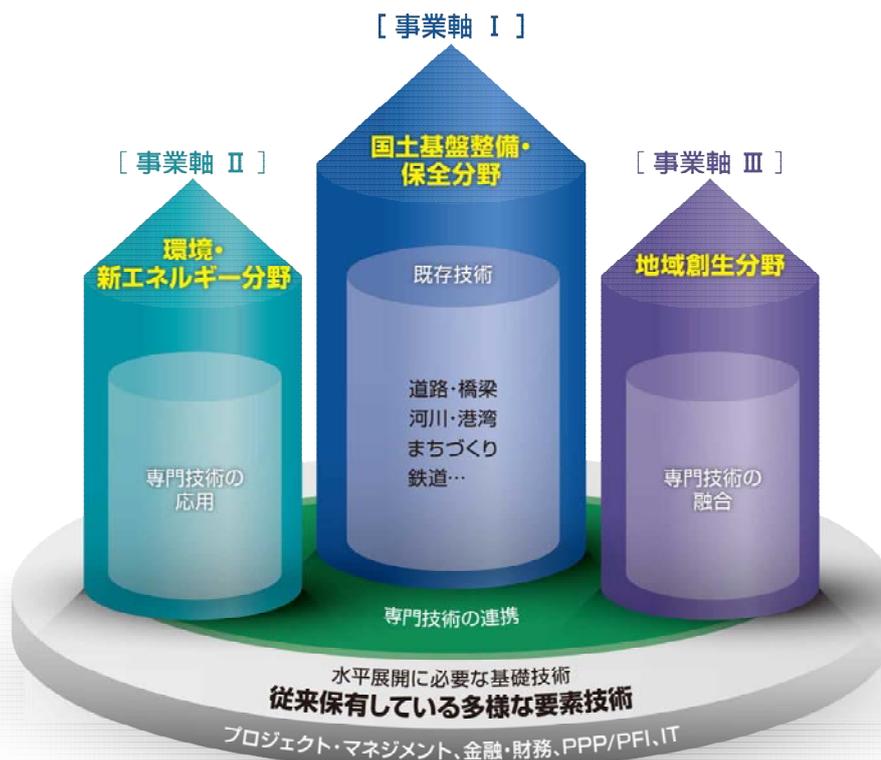
◆3年ビジョン

- ① 顧客および株主に**信頼される企業**
- ② 持続的成長を維持する**安定経営企業**
- ③ 多様な能力の**人材とダイバーシティを活かす企業**
- ④ 事業執行の**改革を進める企業**

◆今後の経営環境の変化への対応

- ① 国内事業ニーズの先取り
- ② 海外事業領域拡大
- ③ 新事業推進戦略
- ④ 組織改編
- ⑤ 株主等との適切な関係構築
- ⑥ 社員のWLBの実現

◆新事業推進戦略



人・夢・技術

[長大の目指す成長イメージ]

11

◆新事業推進戦略

事業軸 I : 国土基盤整備・保全

従来の基幹事業をさらに拡大する。

事業軸 II : 環境・新エネルギー

世界的な成長市場を舞台に、社会環境改善に関わるソリューション提供事業を推進する。

事業軸 III : 地域創生 **New**

従来の建設コンサルタントの役割を拡大し、包括的なサービスを提供する事業を推進する。



人・夢・技術

12

◆基本方針

(1) 国内受注の維持・拡大

◆国内公共事業投資は横ばい推移と想定

- 安定した受注の国内基幹事業は、これを維持
- 事業の横展開と分野拡大で受注を拡大

◆基本方針

(2) 海外受注と利益の安定化

◆海外の安定受注が持続成長のポイントに。毎年の受注変動が、全社業績に大きな影響、また人材活用の非効率化要因にも

- 受注戦略を見直し、受注変動を抑え利益の安定化へ案件形成（ODAと非ODA）、海外現地法人役割強化等

◆基本方針

(3) 新領域事業の成長加速

- ◆利益体質への移行の見える化が必要。事業の拡大を背景に営業コスト増が続く
 - 予算制約の中で効果的な営業活動
 - 事業によっては一定の利益貢献を実現

◆基本方針

(4) 業務の進め方改革の徹底

- ◆顧客の業務評価は上昇、この背景に業務MSの改善の取り組み（PDCA）や行政OBの指導が機能。受注の確保には一層の評価の向上が必要
 - 業務MSの継続的な改善を、「高品質の成果」と共に「利益確保」する改革へ

◆基本方針

(5) 重大ミス・事故をゼロへ

◆ミス・事故の予防対策は効果を発揮しつつもなお、根絶には至らず。「重大な」ミス・事故は経営を揺るがす要因

→予防対策の改善と共に、「重大な」ミス・事故をゼロにする。

◆基本方針

(6) 働き方改革

◆生活と調和した働き方（WLB）、多様な属性の社員が活躍できる働き方（ダイバーシティ）を企業風土にする。

→WLBやダイバーシティ実現が企業成長の要因。長大はグループとして取組む。

◆基本方針

(7) グループシナジーを新しい段階へ

◆「中計2013」期間中に技術、営業、海外、管理の各レベルで進めたグループシナジー増大の取り組みは、全体として各社の「財務体質の強化」に寄与。

→現状の取り組みの深化とともに新しい事業ニーズに応じた連携を強化

◆数値目標

52期の目標

長大 売上高 160億円 → 営業利益 6億円

連結 売上高 290億円 → 営業利益 14億円

◆長大グループの連携強化

グループ企業各社が相互に「和」を保ちながら、それぞれの役割を「担」い、新たな道を「開」き、互いを「信」じ、お互いが良い「影響」を与え合い、強固な連携を築いてきた。



連携強化を進めるのは「人」である。お互いが良い影響を与え合い、支えあい、思いやることが重要である。

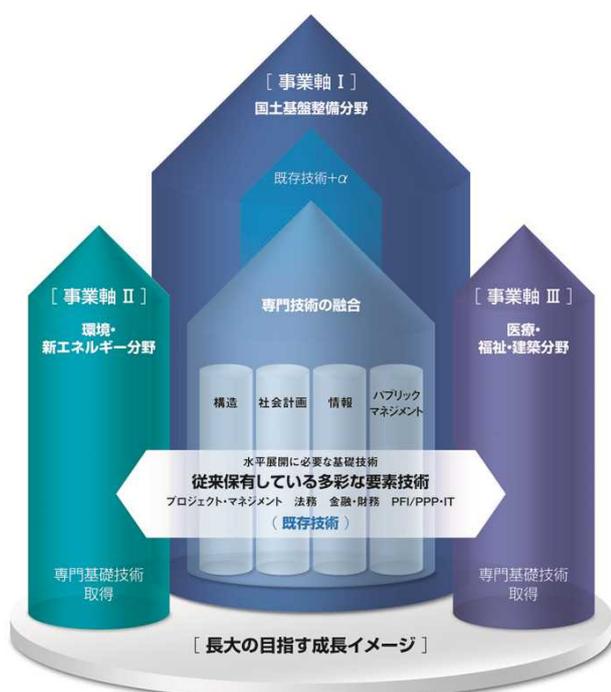
50期シンボル文字 「人」

第49期 決算報告

お手元の決算短信をご覧ください

第49期事業トピックス

◆事業推進戦略に基づく事業展開



事業軸 I : 国土基盤整備

既存土木分野を軸とし、長大専門技術を融合させ、市場の変化に対応して成長を目指す。

事業軸 II : 環境・新エネルギー

市場の今後の成長分野、環境・新エネルギー分野での市場の拡大を目指す。

事業軸 III : 医療・福祉・建築

市場の今後の成長分野、医療・福祉・建築分野での市場の拡大を目指す。

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

当社が施工監理を担当したトルコ国の2橋が 相次いで開通



イズミット湾横断橋（6月開通）



第3ボスポラス橋（8月開通）

- 両橋の開通により、渋滞の緩和及び輸送力の増強が図られ、地域活性化および経済発展がより一層期待される。

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

日本最大支間の人道吊橋「三島スカイウォーク」 平成27年12月14日グランドオープン



写真：株式会社フジコーHPより

- 本年10月に来場者が100万人を超え、民間資本による地域観光基盤の整備という画期的な事業モデルとしても注目
- 日本鋼構造協会 2016年度業績賞を受賞

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

グループをあげて熊本地震に対応



- 行政からの要請に応じて被災地へ専門技術者を派遣
- 長大では、阿蘇大橋の「技術検討会」を支援するとともに、架替ルートや橋梁形式の選定および詳細設計を実施
- 基礎地盤コンサルタントでは、阿蘇大橋上方の斜面について、地質調査、斜面動態観測を実施



人・夢・技術

27

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

北海道に台風による甚大な被害 全社をあげて災害支援に対応



橋台背面の崩落



橋梁の流出

- 8月に4つの台風が北海道に甚大な被害を及ぼした
- 札幌支社に加え、仙台支社、つくば、東京支社のメンバーで災害支援に対応

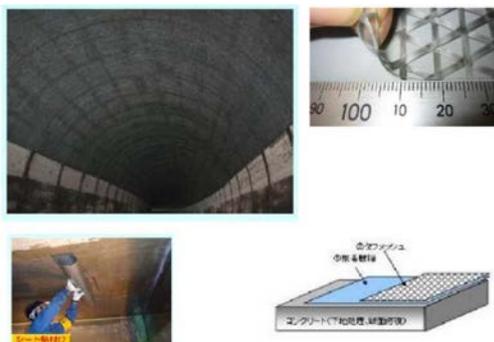


人・夢・技術

28

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

トンネル関連分野（本体設計・補修設計・点検業務）への積極展開



補修工法（繊維接着工法）



トンネル点検実施状況

- これまでは当社はトンネル関連業務の対応が希薄であったが、技術者の増強に伴い、トンネル本体設計・トンネル補修設計・トンネル点検業務の受注が増加
- 今後、技術者レベルを高めて、継続的な業務受注に繋がるように社内体制を強化



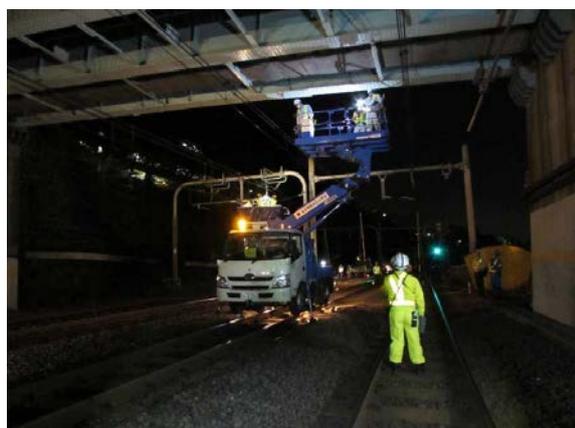
人・夢・技術

CHODAI

29

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

「鉄道における橋梁点検業務」を受注（長大テック）



- 夜間短時間での点検、軌陸車使用など鉄道橋独自の点検技術や機器の活用が必要
- 今後も安全第一で鉄道橋関連の点検業務受注を目指す



人・夢・技術

CHODAI

30

事業軸 I : 国土基盤整備

大学等との共同開発により 2種類の橋梁点検ロボットを開発



斜張橋ケーブル点検ロボット
〔VESPINAE(仮称)〕



ワイヤー移動式橋梁点検ロボット
〔ARANEUS〕

- これまで目視が困難な箇所の点検作業が可能
- 劣化箇所を発見し、維持補修を施すことにより、さらなる橋梁の長寿命化を支援

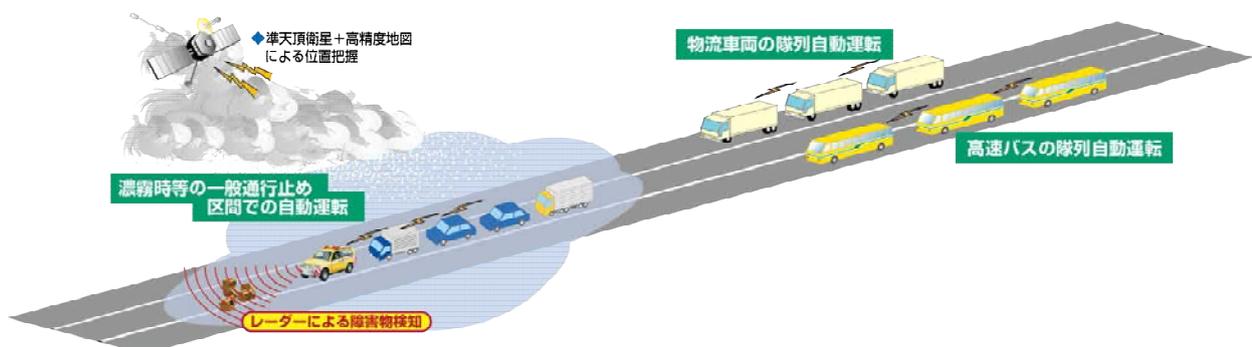


人・夢・技術

31

事業軸 I : 国土基盤整備

スムーズな自動運転の導入・社会構築に向け 調査・研究・検討を実施



- 1990年代より、次世代の道路交通を見据え、自動運転の各種研究開発に従事
- 道路インフラ側での道路交通状況のセンシングと通信技術の調査研究、自動運転に不可欠な“高精度な地図”の整備などを実施



人・夢・技術

32

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

夜間反射塗料「Re-Flex」の販売を開始



- 道路の縁石などのコンクリート構造物に塗ることにより、夜間の視認性を高め、ドライバーの走行安全性を向上
- 自治体を中心に多くの施工実績。引き続き、販路拡大を目指す



人・夢・技術

33

事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー

青森県の民間企業より風力発電事業の コンサルタント業務を受注



- 風力発電事業に必要な、環境アセスメントの実施、風車建設にかかる輸送路の整備計画及び地盤調査など、総合建設コンサルタントとしての業務をワンストップで実施
- 青森県内には、大手企業による風力発電事業が大半を占めることから、地元企業で実施する風力発電事業として注目



人・夢・技術

34

石狩洋上発電事業に従事(基礎地盤C)



鋼製樁の海上設置



樁上での作業

- 北海道で初めての洋上風力発電プロジェクト。石狩湾新港の沖合に100MW級の発電設備を建設する計画
- 海上ボーリング業務を受注し、水深20m程度の外洋において掘削深度65～155mのボーリング調査を実施

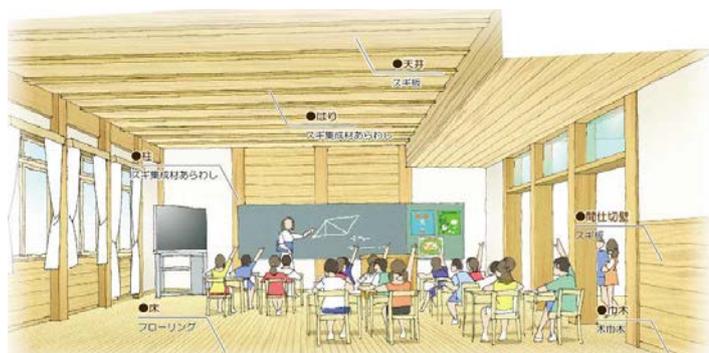


人・夢・技術

CHODAI

35

木の学校づくりー木造3階建て校舎の手引ーを作成



- 文部科学省からの委託業務の中で試設計を行い、それにより得られたポイントや留意事項等を分かりやすく整理し、手引きを作成
- 手引きは全国の市町村、大学、高専に配布・活用

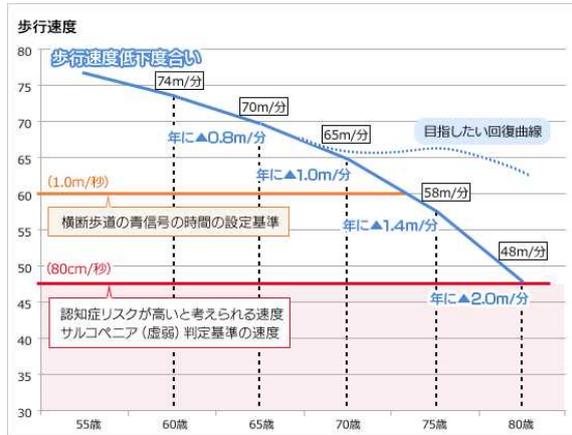


人・夢・技術

CHODAI

36

歩行速度計測アプリを開発(順風路)



歩行速度と年齢の関係



アプリ画面イメージ

- 歩行速度を計測するスマートフォン用のアプリケーションを開発し生命保険会社を通じて提供
- 歩行速度は老化を捉える指標として注目されており、高齢者が自分の老化を捉えて補うことで、健康寿命の延伸に寄与

事業軸水平展開

PFIの特別目的会社の構成員として積極的に事業に参画



小田原市斎場



豊中市新・第2学校給食センター

函南「道の駅・川の駅」



- PFIの特別目的会社の構成員として事業のマネジメントを担当
- 民間活力の活用が求められている中、引き続きPFIの新たな案件形成および参画を推進

ご清聴ありがとうございました



人・夢・技術

株式会社 長大